

栄養豊かな緑黄色野菜 ホウレンソウの カルシウム強化栽培



体質強化！
品質向上！
食味向上！
鮮度保持！

野菜の中でも鉄分が最も多く、その他β-カロテン、マグネシウム、ビタミンB1 やビタミンCなどのビタミン郡や食物繊維も豊富に含んだ栄養価の高い緑黄色野菜！！

【硫酸カルシウム肥料】



カルゲン®

【粉状・粒状】 15kg入り

ホウレンソウ栽培の特長

- ◆ 生育適温は 15℃～20℃
- ◆ 耐寒性に優れて氷点下にも耐えるが、耐暑性は弱く 25℃以上で生育は困難になる
- ◆ 生育に適した土壌 pH は 6.0～7.0 で有機質に富み、保水力があり、排水の良い圃場を好む
- ◆ ホウレンソウは窒素を好み、施すことで葉色は濃緑になり、ビタミン C の含量も増大するが、有害成分のシュウ酸又は硝酸の含有量も多くなるので注意する
- ◆ カルシウム（カルゲン）は窒素との拮抗作用があり、シュウ酸や硝酸を中和する働きがあるので生育初期から十分に吸収させて過剰な窒素の吸収を抑える
- ◆ カルシウムの効果で病気に強く、品質・食味の向上、鮮度保持に期待が持てる

養分吸収量（収穫 1 トン当たり） kg

チッソ N	リン酸 P ₂ O ₅	カリ K ₂ O	カルシウム Ca	マグネシウム Mg
4.4	1.3	6.5	2.7	0.4

カルゲンとは・・・

- ◆ カルシウムとイオウが結びついた石膏（農業用石膏）を主原料に製造したカルシウム特殊肥料
- ◆ 酸性のカルシウム肥料ですから土壌の pH が上昇することなく、連用することで土壌を団粒化して、有効微生物の繁殖を促す
- ◆ 石灰類（炭カル）に比べ約 170 倍水に溶けやすく、作物に吸収されやすい水溶性のカルシウム肥料
- ◆ 作物が健全に生育するために必要なカルシウムの養分補給に最適
- ◆ 特に、窒素過剰による生育障害を軽減（拮抗作用）

カルゲン施用量（当社推奨基準）

	施用方法	施用量	備 考
元 肥	全面土壌混和	2～4 袋/10 a	定植前（他の肥料と同時施用）
追 肥 1	全面に施用	1～2 袋/10 a	隔植替え毎に施用
追 肥 2	葉面散布 （ネオカル水和剤又は カルゲンβ液剤）	100～150ℓ/10a	1,000 倍液を 2～3 回散布 農薬と混用可能 （銅剤・アルカリ剤を除く）

☆ 上記の施用量は標準です。土壌診断を基準に施用量を増減してください。

☆ 酸性土壌の場合は石灰類等を加用してください。

☆ 詳しくは、お近くの販売店または営農指導員の方へお尋ねください。

《総販売元》



吉野石膏販売株式会社